

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和7年7月10日 第11号
発行;校長 村上謙一

【主体性とは？】

「子どもたちの主体性を育む」これは現行学習指導要領、令和の日本型学校教育(R3.1.26 中教審答申)に強く示されています。変化が激しく予測困難な未来を生き抜くために欠かせない力です。

行事や集会に静かに整然と整列する。一西小の子どもたちはこれができます。このように教師の指示に対して、自ら進んで行動できることは「自主性」です。自らの意思で行動できるようになることが「主体性」です。そうすると、行事や集会、授業がどんな姿になるのか、想像することが難しいのです。

私はいろいろなクラスの給食におじゃまをして、子供たちといっしょに食事をするようにしています。どの学級に行っても、子供たちは大歓迎してくれます。「よろこばせてもらって、お給料がもらえる。学校の先生っていい仕事だなあ」と一人で思いにふけています。その一方で、担任・担当の先生方は自分の食事の時間を削って、残食を減らすべく、配膳されたものを減らす・余った食材を平等に分ける指示をされています。そして残ったわずかな時間で自分の食事をされています。このようにして教職員は早食いの習慣がついていきます。かつての私もそうでした。



それが、ある学年では給食の時間に担任・担当の先生の指示が出ません。私が「あれ？」と思っていると、子供の中から余った食材の分配を始める人が出てきました。残食を減らし、食べる時間を確保するにはどうしたらよいか。この「問い」を子どもたち自身のものとするために、先生方が指示をひかえた結果、このような動きが引き出されたのでしょうか。私が驚いていると、子供たちは「私のクラスはね、話過ぎてチャイムまでに全部食べられないことが多いよ。」と笑顔で話してくれました。次は全部食べられるようにするにはどうしていくかを考えればいいのですね。それまでの間、「もったいないの神様」には少し目をつむっておいてもらいましょう。

給食を決まった時間に、残さず食べることに当事者意識をもって主体的に行動している子どもの姿がそこにありました。学校の学びは授業以外のところにもあります。けんさんも学ばせていただきました。おなかも頭も、ごちそうさまでした。

【社会科校外学習】



6月30日(月)、4年生が社会科の学習を深めるために豊川市浄水場の見学に行ってきました。7月2日(水)は宇連ダムを見学しました。

【豊川市教育委員会学校訪問】



7月3日(木)、豊川市教育委員会教育部長高橋純司様はじめ5名の先生方にお越しいただき、一西小の日常の教育活動をご覧いただきました。子どもたちと先生方が、共に熱心に学ぶ姿にお褒めの言葉をいただきました。「一西小のみんな、ありがとう。」

【まちたんけん】

2年生は自分たちが生活している一宮町のたんけんをすすめています。帯川をしらべているうちにおよぐ子どもでできました。



【青少年健全育成推進協議会】



7月4日(金)図書室にて、第1回一西部校区青少年健全育成推進協議会が開かれました。7年度は会長を篠田の田中博信様がお勤めになられます。西原町内会長と足山田町内会長と共に、校長は副会長を務めさせていただきます。学校からは私が教頭として本校に赴任してから4年間の推移をお話させていただきました。地域の大人が子どもの健全育成に主体的に取り組むこの活動に大きな期待を寄せています。7月より各町内会長様に「0の日」のあいさつ活動を始めていただきます。